



中秋の名月に照らされる研修センター実習生寮。
10月4日撮影

あじけん通信

2017 OCTOBER
VOL118

株式会社きぼう国際外語学院
企画・編集 澁谷 健司

10月に入り、季節もすっかり秋めいてきました。「秋の日はつるべ落とし」と言いますが、実習生の下校時間（5時30分）を過ぎる頃から、外は急に暗くなり始め、アツと言う間に、真っ暗になってしまいます。この時期に実習生の皆さんを悩ますのが「こんばんは」のタイミングです。来日前の日本語事前学習で、「こんばんは」は、夜の7時を過ぎてからとか、8時を過ぎてからと、教わってきた実習生は、外が既に真っ暗でも、「こんにちは」とあいさつします。日本語講師としては、どうしても違和感を覚えるので、「〇〇さん、今は、明るいですか、暗いですか」と、外の状況を指差します。すると実習生が「暗いです」と答えるので、「暗くなったら、こんばんは、ですよ」と、その場で指導します。すると実習生の皆さんも、「あー、そうなのか」と直ぐに「こんばんは」の使い方を理解してくれます。実生活を通して、特に失敗から学ぶことは、記憶の定着が長続きし、習慣として身に付きやすいように感じます。季節は「勉強の秋」、今月は、実習生の皆さんが、秋の夜長を利用して、寮でもしっかりと勉強するように、愛情込めて、宿題をいつもより多めに出しています！

あじけんスコープ Vol.58

今月のあじけんスコープは、実習生のランチタイムの様子を覗いてみましょう。本校では、昼食時に教室を開放しています。百均で買ったお揃いのお弁当箱が目立っていたグループにお邪魔してみると、えっ？よく見ると、おかずがない・・・。

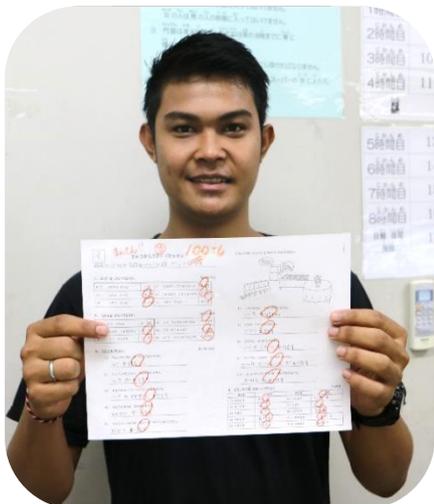
おかずの代わりにテーブル中央に置かれたCHA BONG(チャボン)と呼ばれるピーナッツを砕いて塩と砂糖で味付けしたふりかけの様な食べ物と、MUOI DAU(ムオイダウ)と呼ばれる豚の干し肉。どちらもベトナムから持参した物らしく、この2つをご飯の上に乗せて食べるだけ。あまりにもシンプルなお弁当に驚きましたが、彼女達にとっては、母国から遠く離れた日本で、故郷の味が味わえるのが何よりのご馳走なのかもしれません。手軽で栄養満点なので、1日8時間の日本語授業というハードな日課をこなす実習生の皆さんには、打って付けの「おかず」ともいえるでしょう。



MUOI DAU(ムオイダウ)

CHABONG (チャボン)

今月の実習生



今月は、中間テスト(筆記)で、見事100点満点を取ったインドネシア人実習生のPUTU ADI SAKA(アディ)さんを紹介します。中間テストは、レベルチェックテスト・修了テストに比べて基本的な出題が多く、平均得点も高めなのですが、それにしても全くミスのない100点満点の答案にはめったにお目にかかれませんが、テストには記述式の設問も含まれているので、このテストでパーフェクトな答案を作れるということは、日本語の基礎力が着実に身に付いているだけでなく、作業でミスを犯さない慎重さや、正確さも持っていると言えます。アディさん、これから始まる技能実習でも満点目指して、頑張ってください！

はじめまして わたしはプツアディサカです。22歳で、インドネシアから来ました。インドネシアで6か月づつにほんごをべんきょうしました。いまわたしはきぼうでべんきょうしています。ちゅうかんテストでわたしは100点をもらいました。うれしかったです。さんせいたちありがとうごさいます。にほんごのべんきょういっしょけんめいがんばりたいです。

あじけん流日本語授業

今月は、ゲーム的な要素を取り入れた文字指導（ひらがな・カタカナの指導）を紹介します。

この活動は、来日前の日本語事前学習期間が短いため、基礎力定着に重点を置いた特別カリキュラムで行われている活動です。このカリキュラムでは、ひらがな・カタカナの定着が学習目標の1つとなっています。限られた講習期間内でひらがな・カタカナの読み書きを、少しでも楽しく、効果的に定着させる手立てとして、この活動が取り入れられています。

具体的な活動例としては、先ずクラスの実習生を4名～5名から成る複数のグループに分けます。次に、各グループを、ホワイトボードに向かって、縦1列に並らばせます。そして、一番後ろに並んだ実習生が、先生の所に行き、キーワードを見せてもらいます（写真1）。そこには、これまでに学習した名詞が、ひらがなやカタカナで、1つ書かれています。それを見た最後尾の実習生は、急いで自分達の列に戻り、自分の前に立っている実習生の背中にその名詞を書きます（写真2）。この背中文字書きで、キーワードの名詞を、列の先頭にいる実習生までリレーしていきます。そして、列の先頭の実習生は、自分の背中に書かれた文字を、紙に書き写して、その紙をホワイトボードに貼り付けます。この時に、他のチームの実習生に答えが見えないように紙は折ってから貼り付けます（写真3）。全ての列の先頭の実習生が、回答の紙を貼り付けたらゲーム終了。最後に紙を開いて、答え合わせとなります（写真4）。正確に書かれていれば、ゴールとなりますが、書き間違いがあると、ゴールは無効となります。



写真1：先生からキーワードを見せてもらう列最後尾の実習生



背中に書かれた単語を紙に書き写す列の先頭の実習生



写真3：ホワイトボードに答えの紙を貼り付ける実習生

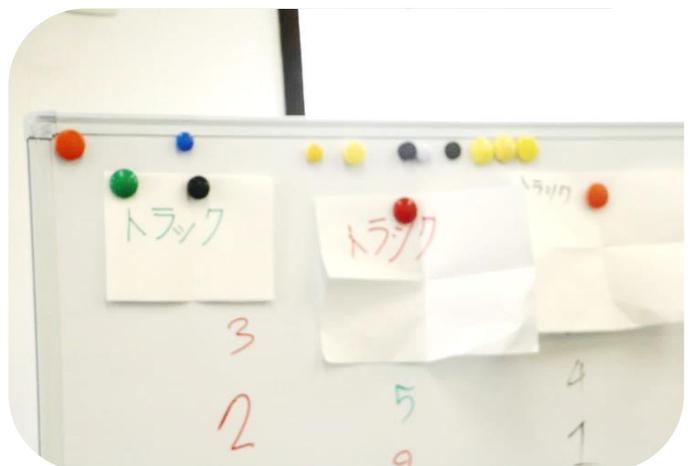


写真4：カードを開いて答え合わせトラック？トラシク？